航空写真

○宮前付近

令和4年12月7日撮影

○与野JCT（仮称）付近

令和4年12月7日撮影

事業の流れ

新大宮上尾道路（与野～上尾南）は、計画を進める上で、「みなさまのご意見」を伺いながら、事業を進めて参ります。

都市計画変更の手続き

- 都市計画変更 原案説明会 H31.1.18～H31.1.26
- 都市計画変更案の公告・縦覧 R1.5.10～R1.5.24 ← みなさまのご意見
- 都市計画変更決定 告示・縦覧 R1.10.1
- 都市計画事業承認及び認可告示 R2.3.13
- 設計用地説明会 設計図をもとに、関係者の方々に具体的な説明を行います。 ← みなさまのご意見
- 幅杭の設置 道路に必要な幅を現地に示します。
- 用地測量・調査等 事業に関係する土地の境界、面積、建物などを調査します。
- 用地交渉と契約 関係者の方々と用地補償の交渉をして、契約・支払いを行います。
- （埋蔵文化財調査） 必要に応じ路線用地内の埋蔵文化財を調査します。
- 工事説明 関係者の方々に工事の実施方法、工事期間中の交通処理等の説明を行います。 ← みなさまのご意見
- 工事 周辺環境に配慮しながら、沿道の皆様にできるだけご迷惑のかからないように工事を行います。
- 完成

：関係者の方々に説明・公表するステップ
：調査・設計や工事などのステップ

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所
〒331-9649 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435
TEL.048-669-1204(工期期)
https://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/

ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社
更新・建設局 調査・環境課
〒101-0064 東京都千代田区神田錦町 2-2-1
KANDA SQUARE 17F
TEL. 03-6800-3770
https://www.shutoko.jp/ss/shin-omiyaageo/

2023年 2月

その先へ―。

国道17号 新大宮上尾道路

与野～上尾南

都心とのアクセスをもっと！スムーズに

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社

新大宮上尾道路（与野～上尾南）

- 新大宮上尾道路の整備により、圏央道沿線から都心へのアクセス性が向上し、地域の産業活動を支援します
- 渋滞緩和により追突事故の減少、信越、東北方面との主要拠点間の広域連携強化など、沿線地域の安全で安心な暮らしに寄与します

事業の概要

新大宮上尾道路は、国道17号の慢性的な交通渋滞の緩和や埼玉県中央地域の健全な発展などを目的とする、さいたま市中央区から鴻巣市に至る延長約25.1kmの高架構造の自動車専用道路です。

平成28年度に、埼玉県さいたま市中央区円阿弥（えんあみ）～埼玉県上尾市堤崎（つつみざき）（与野～上尾南間）の延長約8.0kmが事業化されました。

平成２９年度から、国土交通省関東地方整備局と首都高速道路株式会社で共同で事業を進めています。

位置図

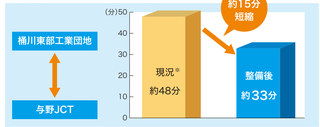
期待される整備効果

①地域の産業活動を支援

圏央道沿線では企業立地が進む中、圏央道開通によるネットワーク化で、さらなる交通需要が見込まれ、物流企業等の都心方面へのアクセス改善が求められています。さらに、国道17号バイパス及び国道17号については、南北方向の長トリップの通過交通が流入し、交通容量の大幅な不足による渋滞が発生しています。

新大宮上尾道路の整備により、円滑な物流が確保できるため、圏央道沿線からの都心方面へのアクセス性が向上し、地域の産業活動を支援します。

■圏央道沿線からの所要時間の変化

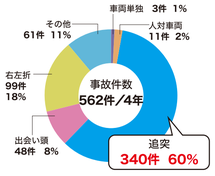


※現況：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査

②住民の安全性が向上

国道17号バイパスでは、平日朝の旅行速度が約13km/hであり、延長約8.0km間における旅行速度の著しい低下が原因と考えられる追突事故は4年間で340件と多発しています。

新大宮上尾道路の整備により、一般道路の渋滞が緩和され、追突事故の減少が見込まれます。



資料：交通事故統合データベース（H25～H28）

■事故件数の内訳

③物資輸送等の広域連携が向上

さいたま新都心は、首都圏広域防災拠点に位置付けられていますが、圏央道から与野間の広域幹線道路が未整備のため、信越、東北方面の主要拠点等からのアクセスが不十分となっています。

新大宮上尾道路の整備により、防災拠点として機能するために必要なネットワークが整備されます。また、信越、東北方面の主要拠点等からさいたま新都心へのアクセス性が強化され、拠点間の物資輸送等の速達性向上に寄与します。

■国道17号バイパスの現状

宮前南出入口（仮称）付近

与野JCT（仮称）付近

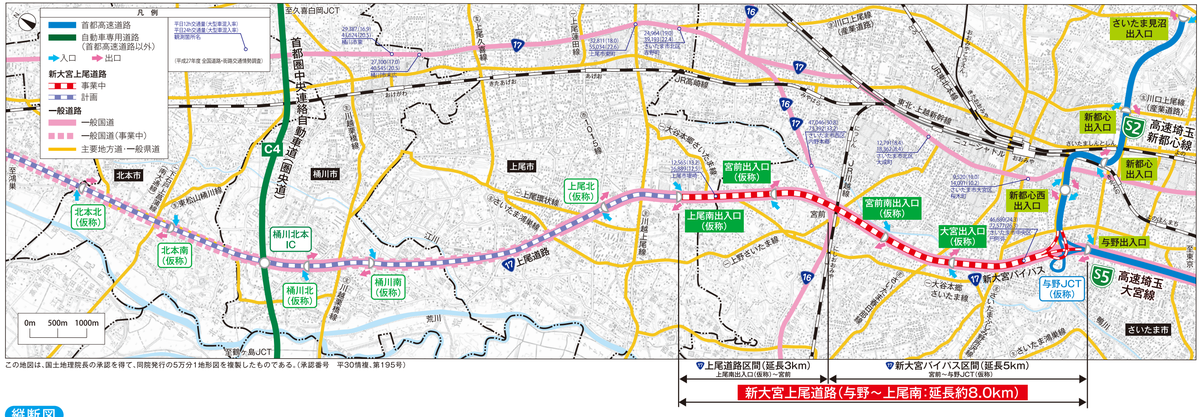
■対象路線周辺の企業立地

資料：H30 埼玉県工場適地図

■事業化区間の進捗状況

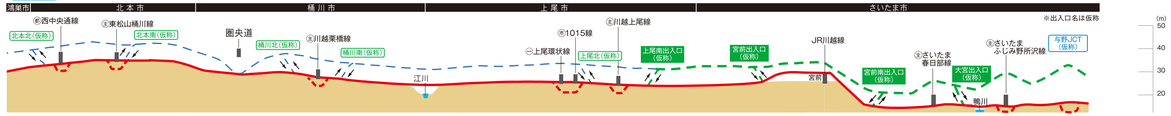
■さいたま新都心へのアクセスルート

平面図



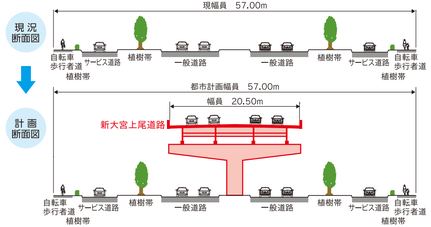
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平30情複、第195号）

縦断図



標準断面図

■上尾道路区間（上尾南出入口（仮称）～宮前）

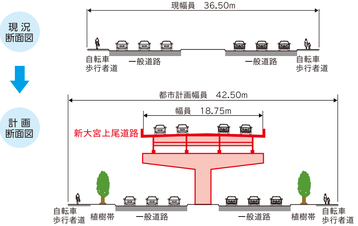


新大宮上尾道路	
道路規格※	第1種第3級
設計速度	V=80km/h
道路幅員	W=20.50m
車線数	4車線

一般道路	
道路規格※	第4種第1級
設計速度	V=60km/h
道路幅員	W=57.00m
車線数	4車線

※道路規格は道路構造令第3条に基づく区分

■新大宮バイパス区間（宮前～与野JCT（仮称））



新大宮上尾道路	
道路規格※	第1種第3級
設計速度	V=80km/h
道路幅員	W=18.75m
車線数	4車線

一般道路	
道路規格※	第4種第1級
設計速度	V=60km/h
道路幅員	W=42.50m
車線数	6車線

※道路規格は道路構造令第3条に基づく区分

事業経緯

年月	自動車専用道路（高架構造部）	一般道路（地上部）
昭和35年度		新大宮バイパス調査着手 （さいたま市中央区円阿弥地先～さいたま市西区宮前町地先）
昭和38年8月	新大宮バイパスの都市計画決定 （さいたま市中央区円阿弥地先～さいたま市西区宮前町地先）※幅員36m～42.5m	
昭和41年度		新大宮バイパス工事着手 （さいたま市中央区円阿弥地先～さいたま市西区宮前町地先）
昭和44年5月		上尾道路都市計画決定 （さいたま市西区宮前町地先～鴻巣市貝田地先）※幅員40m
昭和54年4月		新大宮バイパス（埼玉県側）全線6車線で開通 （さいたま市中央区円阿弥地先～さいたま市西区宮前町地先）
平成元年11月	高速埼玉中央道路の環境影響評価を実施 （さいたま市中央区円阿弥地先～鴻巣市貝田地先）	
平成元年12月	高速埼玉中央道路として都市計画決定 （さいたま市中央区円阿弥地先～鴻巣市貝田地先） ※幅員18.75m～20.5m	〈新大宮バイパス区間〉 新大宮バイパス線都市計画決定 （さいたま市中央区円阿弥地先～さいたま市西区宮前町地先） ※さいたま市中央区円阿弥～さいたま市西区宮前町区間の幅員36mを42.5mに変更 〈上尾道路区間〉 上尾道路都市計画決定 （さいたま市西区宮前町地先～鴻巣市貝田地先） ※幅員40mを57mに変更
平成2年度		上尾道路Ⅰ期区間事業化 （さいたま市西区宮前町地先～桶川市川田谷地先（主要地方道川越栗橋線交差部））
平成3年3月	高速埼玉大宮線、高速埼玉新都心線の工事着手（工事開始公告） （美女木JCT～新都心出入口）	
平成7年度		上尾道路Ⅰ期区間事業区間延長 （桶川市川田谷地先（主要地方道川越栗橋線交差部）～桶川市川田谷地先（桶川北本IC付近））
平成10年5月	高速埼玉大宮線（美女木JCT～与野出入口）開通	
平成14年度		上尾道路Ⅰ期区間工事着手
平成16年5月	高速埼玉新都心線（与野JCT～新都心出入口）開通	
平成18年8月	高速埼玉新都心線（新都心出入口～さいたま見沼出入口）開通	
平成22年3月		上尾道路Ⅰ期区間（さいたま市西区宮前町地先～上尾市小敷谷地先:4.2km、桶川市川田谷地先（主要地方道川越栗橋線交差部）～桶川市川田谷地先（桶川北本IC付近）:2.1km）、暫定2車線で開通
平成23年度		上尾道路Ⅱ期区間事業化 （桶川市川田谷地先（桶川北本IC付近）～鴻巣市貝田地先:延長9.1km）
平成28年4月	新大宮上尾道路（与野～上尾南）の延長約8.0kmについて新規直轄事業化	上尾道路Ⅰ期区間（さいたま市西区宮前町地先～桶川市川田谷地先（桶川北本IC付近）:11.0km）、全線開通（一部、暫定2車線）
平成29年3月	新大宮上尾道路（与野～上尾南）の延長約8.0kmについて 有料道路事業許可	
平成31年1月	都市計画変更原案説明会の開催	
令和元年10月	一部道路構造の見直しによる都市計画変更決定	
令和2年3月	＜高速埼玉中央道路＞都市計画事業承認及び認可告示	〈新大宮バイパス線〉 都市計画事業承認及び認可告示 〈上尾バイパス線〉 都市計画事業承認告示
令和2年4月	都市計画事業の施行者公告	
令和3年度	新大宮上尾道路（与野～上尾南）工事着手	

周辺環境対策

■遮音壁

遮音壁の設置により、沿道に伝わる交通騒音を低減します。

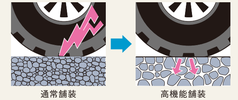
■裏面吸音板

高速道路の橋桁の下に設置することで、橋桁裏面で反射する街路の交通騒音等を低減します。

※設置範囲・設置高さ等は今後詳細に検討を進めてまいります。

■高機能舗装

通常の舗装よりもすき間を多く作ることで、騒音の低減や雨天時の安全性向上の効果が期待できます。



通常舗装　高機能舗装